

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	アイリスクラブ八尾南			公表日	2026年4月1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		フロアのスペースをいかし、工夫しながら活動を行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		シフト調整や利用定員や子どもの状態を考慮しながら、職員の配置を工夫しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	イラストや写真を用いて、子どもたちに分かりやすく伝えていきます。また障がいの特性に応じ、バリアフリー化になっています。	絵やイラストでは伝わりにくい事もあるので写真での視覚的情報を伝えられるものを増やしてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日の清掃を行い清潔な空間になるように努めています。使用した療育グッズは毎日消毒をしています。また必要以上に物を置かず、活動しやすい空間を心がけています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		SST講座・就学前講座・感覚統合講座、体調不良、活動内容によって2つの個室を使い分けています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		朝礼・終礼・ケース会議等を通して、職員ごとにPDCAの意識を持って共有の場を増やしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		集約した内容をすぐに職員全体で話し合いを行い業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		朝礼・終礼・ケース会議等を通して職員全員の意見を毎日確認し、話し合い業務にいかしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		保護者評価表を年に1回評価して頂いており、業務改善につなげています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		毎月、事例検討研修を実施しています。チーム支援や専門支援の研修なども随時行っています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		毎月カレンダーを作成し、プログラムを公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		保護者様と情報共有を行い、内容の確認を行いながら作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		職員間で子ども1人1人の支援の内容を確認し合い、情報共有を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		子ども1人1人の支援計画を職員間で話し合い、内容の確認や情報共有を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		書類などの質問項目、日々の行動観察なども行い状況の確認を行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		放課後等デイサービスガイドラインのねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目を適切に設定し、具体的な支援内容を設定するようにしています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		朝礼を行い共有すると共に、その日のリーダーを主体に活動プログラムを立案し、チームで話し合い取り組んでいます。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	日々の活動の「メインテーマ」や「リーダーとなる職員」をあらかじめ決めており、多様なプログラムを作成しています。	子どもの特性や様子に応じて内容の変更を行う事もあり、課題達成に向けてのプログラムを作成してまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		放課後等デイサービス計画に基づき、子どもに応じて個別や集団での支援を行っています。子どもの特性や個性を活かし支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		朝礼を毎朝行い、危険リスクを想定し、職員の配置を考え、チーム連携をとり、支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	終礼を毎日行い、その日の支援をふり返ると共に、改善点・気付いた点等を共有しています。	改善点や気付いた点等の共有を終礼時だけでなく、支援の合間などでもスタッフ間で行えるように努めてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		支援を記録し、疑問点や気になる点があれば保護者様や職員間で情報確認を行い、支援の検証・改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		半年ごとに支援内容（課題・目的）を見直し、目標達成の判断を行い、必要に応じ見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		子ども1人1人が選択肢や質問などを自己決定できるよう支援を行っています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児発管やマネージャーが参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		役所、園、学校等お互い訪問し合い関係機関と連携し、支援を行う体制をとっています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		学校との情報共有を行い、送迎時の対応、トラブル発生時など都度適切に対応しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		園と子どもの様子や対応策などについて情報共有を行い、就学前講座や就学支援引継ぎシートなどで、相互理解に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		福祉サービス事業所の方に支援内容を具体的に伝え引継ぎ・情報提供しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、助言などを受ける機会を設けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	1	交流イベントを行い地域の子どものとの交流の機会を設けています。	相互に交流の機会を増やしていけるように努めてまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8		協議会（部会）等へ積極的に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時や電話連絡・家族支援など保護者様と共通理解を図っています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	親の会を実施し、テーマについて話し合いの場をつくり、情報提供を行っています。	ペアトレなど家族支援について、より一層の情報提供の機会を増やしてまいります。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に通所するのに必要な情報や利用負担額について都度説明させて頂いています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		面談時に聞き取り、情報共有を参考に職員がアセスメントを擦り合わせて作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		支援計画を示し、支援内容の説明を行い保護者様に確認して頂き、同意をして頂いています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		保護者様からの相談に応じ、適切に面談や必要な助言を行っています。事業所や家庭・学校でのお子様の行動や様子を共有し、必要な助言と支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8		親の会を行い、保護者様とスタッフとの交流を図っています。また保護者様同士でお話する機会も設けており、日々の困り事や対策などの情報共有の場になるよう支援を行っています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		誠意を持って、迅速かつ適切な対応を心がけています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		カレンダーやお便りなどを毎月行っています。SNSの発信については今後対応していきます。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		職員一同、個人情報の取り扱いに十分留意しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		言葉だけでなく子どもには絵カードや写真を用いて情報伝達を行っています。また子どもや保護者様にとって分かりやすい説明を心掛けています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	近隣の園児を招いて季節のイベントを一緒に共有し、楽しい時間を過ごせるように計画しています。	相互に交流の機会を増やしていけるように努めてまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		事務所にて各マニュアルを確認出来るようにしています。またそれらの内容に沿って訓練を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		業務継続計画（BCP）を策定し、非常災害の発生に備えて、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		契約時など事前に保護者様より子どもの情報を伺っています。また日々の服薬や予防接種については職員間で情報共有を行い、確認を行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		契約時など事前に保護者様より子どもの情報を伺っています。アレルギーの一覧表を作成し、保護者様に確認し、対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画に基づき、安全管理に必要な研修を行い、安全管理が十分された中で支援を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		事業所内に資料を掲示するなどして家族等へ周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハットや事故報告書の情報共有を行い、全スタッフが必ず閲覧の上、必要に応じて話し合いを行い、再発防止策について検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		虐待防止の研修を年に数回行い、情報の更新を行い、職員全員が虐待防止の意識を高めて適切な対応を心がけています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		身体拘束の研修を行い、組織的に決定した支援方法を行っています。万が一、身体拘束を行う際は子どもや保護者様に事前に説明を行い了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しています。		